

自己評価結果公表シート（平成30年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・遊びの環境の充実を図る
- ・保育者の資質の向上
- ・地域に根付いた保育園作り

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○遊びの環境の充実を図る ・屋上、園庭の環境を見直す ・自然に触れられる環境を整える	・屋上に日よけを付ける事で、暑い夏場でも遊べるようになった。 ・園庭に砂山を作ったり、丸太を植えたりと、平面の園庭ではなく、凸凹や障害物がある事で、危険回避能力や体のバランス感覚を身につける事ができた。 ・園庭のプランターに様々な花や植物を植えた事で、自然遊びや食育に繋がった。
○保育者の資質の向上 ・研修に積極的に参加する ・自己評価を行い、専門性を高める	・職員が救急講習の研修を受け、緊急時の応急手当等を学んだ。 ・外部の研修（保育制度、防災、防犯対策、発達障害、児童虐待、アレルギー等）を受け、職員同士で内容を共有した。 ・職員それぞれが目標を持ち、学期毎に自己評価を行い振り返る事で、保育の質が向上するよう努めた。
○地域に根付いた園作り ・子育て支援を積極的に行う ・地域との交流を図る	・月に1回、0・1歳対象のお遊び会、年に2回、未就園児対象のお遊び会を開催した。施設を開放すると共に、保護者や子ども達と遊びを通して交流を持ち、保護者同士のかかわりや繋がりも深まった。 ・地域の公園を利用する機会を持つ事で、地域の方々と交流を持っている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・危機管理の強化 ・運動遊びの充実 ・保育者の資質の向上	・交通安全や不審者対応について職員同士で話し合い、十分に気を付けて園外に出るようにする。 ・サーキット遊びを行い、様々な体の基礎の動きを取り入れ、腕や足の力、バランス感覚等、遊びを通して身に付けられるようにする。 ・働き方を見直し、職員間での協力体制を整え、残業等の軽減を図り、日々の保育に充実感を持って取り組めるようにしていく。